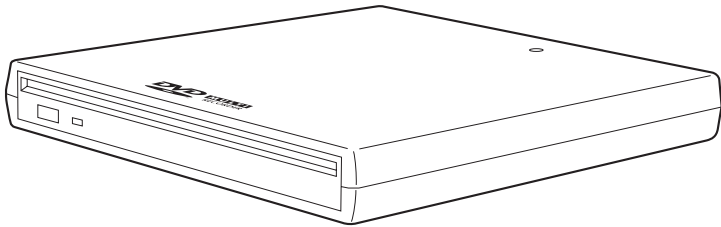


PIX-SLRR/F1H

FireWire 接続 ポータブル DVD MULTI ドライブ



対応パソコン

【Macintosh】

Mac OS 8.6以降が動作する、FireWireポート標準搭載の機種
Power Macintosh G3(Blue&White)、Power Mac G4(PCIモデルを除く)
iMacDV、PowerBook G4、iBook、iMac(Flat Panel)、eMac

*ドライブの使用にはMac OS 8.6以降、メモリ32MB以上の環境が必要

*DVD-Video作成には弊社製「Capt DVD/VCD」またはApple社製「DVD STUDIO Pro」
などのDVD/VCDオーサリングソフトウェアが動作する環境が必要

*UDF使用時はMac OS 9.0～9.2.2が動作する環境が必要

*DVD-R/RWのライティングにはMac OS 9以上の環境が必要

【Windows】

Windows Me/Windows 2000 Professional/
Windows XP(Home/Professional)各日本語版(OSプリインス
トールマシン推奨)が動作する、IBM PC/AT互換機 (DOS/V機)
OHCIドライバ対応のIEEE1394ポート

*Pentium 300MHz、メモリ64MB以上の環境が必要

この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。

保証書は「ご購入日」「販売店名」などの記入を必ずお確かめの上、販売店からお受け取りください。

SX155-61001-A



ソフトウェア製品使用許諾契約書

お客様は、この使用許諾契約書(以下、本契約)の下記使用許諾条件にしたがって、ソフトウェアプログラム(以下、本プログラム)ならびに取扱説明書等の付属物を使用する譲渡不能な非独占的権利を、株式会社ピクセラより許諾されます。

許諾事項

お客様に本プログラムを1台のコンピュータにインストールして利用する権利を非独占的に許諾いたしますが、この権利を第三者に譲渡することはできません。

本プログラムは、バックアップの目的でのみ、著作権に関する表示が元の状態のまま残されることを条件に、マシン読み取り可能な形態でプログラムを1部複製できます。

禁止事項

本プログラムをネットワーク上で使用することはできません。ネットワーク上の複数のコンピュータで使用する場合は、別途、株式会社ピクセラから各コンピュータ毎の使用権を取得することが必要です。

お客様は、本プログラムを再使用許諾、譲渡、頒布、貸与その他の方法により第三者に使用もしくは利用させることはできません。

お客様は、本プログラム及び付属物の全部または一部を修正、改変、逆コンパイルまたは逆アセンブルすることはできません。または第三者にこのような行為をさせてはなりません。

契約の終了

お客様が、本プログラムまたは付属物を許可なく複製したり、上記許諾条件に違反した場合には、本契約は自動的に終了するほか、株式会社ピクセラにより他の法的な措置がとられることがあります。契約終了の場合、お客様は、本プログラム、付属物、複製物一切を廃棄または株式会社ピクセラに返還するものとします。

保証と免責

本プログラムおよび付属物は、明示黙示を問わず、商品性、お客様の特定の使用目的への適合性と合致するものではありません。また、株式会社ピクセラは、本プログラムの機能がおお客様の要求と合致すること、あるいは本プログラムの作動に中断やエラーのないことを保証するものではありません。

株式会社ピクセラは、本プログラムの使用に付随または関連して生じる直接的または間接的な損失、損害などについて、如何なる場合においても一切責任を負わず、また本プログラムの使用に起因または関連してお客様と第三者との間に生じたいかなる紛争についても、一切責任を負いません。

ご注意

- (1) 本書の内容の一部または全部を無断で転載することは、固くお断りします。
- (2) 本書の内容について、将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書の内容については、万全を期して作成いたしました。が、万一ご不審な点や誤り・記載漏れなどお気づきの点がございましたら、ご連絡下さいませよう願っております。
- (4) 本製品を運用した結果の影響につきましては、(2)(3)項に関わらず責任を負いかねますので、ご了承ください。

商標について

- Windows®は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
(Windows の正式名称は、Microsoft® Windows® Operating System です)
- Macintosh は米国 Apple Computer, Inc. の商標です。
- QuickTime および QuickTime ロゴは、ライセンスに基づいて使用される商標です。QuickTime は、米国およびその他の国々で登録された商標です。
- Photo CD は米国イーストマン・コダック社の商標です。
- その他、本書に記載されている社名および商品名は、各社の商標、登録商標および商品です。

目次

PIX-SLRR/F1Hの特長	2
付属品のご確認	3
安全上の注意	4
使用上のお願い	7
各部のなまえとはたらき	12
接続のしかた	13
ディスクの出し入れ	14
使用できるメディアについて	16
DVD-Videoの再生について	18
Macintoshでの利用方法	19
ソフトウェアのインストール	20
DVD-RAMの使い方	22
DVD-R/RWの使い方	29
CD-R/RWの使い方	36
ディスクイメ - ジメニュー - について	38
その他のアプリケーションについて	40
Windowsでの利用方法	41
ソフトウェアのインストール	42
ソフトウェアのアンインストール	43
DVD-RAMの使い方	44
困ったとき?!	51
巻末資料：用語解説	52
定格	53
ユーザーサポートについて	54
保証とアフターサービス	56

PIX-SLRR/F1Hの特長

■ 多彩なメディアに対応

DVD-RAM 片面4.7GB、両面9.4GBの大容量記録。2倍速記録・再生。

DVD-R(for General,Ver.2.0)の記録・再生。2倍速記録。

DVD-RW(Ver.1.1)の記録・再生。

CD-R/RWの記録・再生。

■ 持ち運びに便利なポータブルタイプ

本体重量約390g、最大厚さ約20mmの軽量小型。

■ Macintosh環境に最適化

Fire Wire(IEEE1394)接続。

Macintosh用DVD-Video/Video CDオーサリングソフトウェア「Capty DVD/VCD Ver1.1」同梱。

Macintosh用DVD/CDライティングソフトウェア「Pixe Burn!3」同梱。

Windows機とのデータ交換にも配慮し、デバイスドライバおよび各種ツールはMacintosh用とWindows用を同梱。

・本製品の使用により、または故障により生じたデータの損失ならびに、その他直接、間接の損害につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。重要なデータに関しては、万が一に備えてバックアップ(複製)を行ってください。

・本製品(ソフトウェア含む)は日本国内仕様です。日本国外で使用された場合の責任は負いかねます。

付属品のご確認

必ず確認してください。

PIX-SLRR/F1Hのパッケージには下記の付属品が収められています。

PIX-SLRR/F1Hをご使用になる前に必ず確認してください。

不足品や破損品がありましたら、すぐにお買い上げの販売店または弊社ユーザーサポートセンターへご連絡ください。

ドライブ本体 1台

ACアダプタ 1個

IEEE1394(FireWire)接続ケーブル(6Pin-6Pin) 1本

CD-ROM 1枚

取扱説明書 2冊

ユーザー登録カード兼保証書 2枚

△ご注意

ユーザー登録カード兼保証書は、紛失された場合でも再発行いたしかねます。
あらかじめご了承のうえ、大切に保管してください。

重要

ユーザー登録について

ユーザー登録については、簡単に登録が行えるインターネットでの登録をお勧めします。

(アドレス <http://www.pixela.co.jp/support/>)


詳細についてはユーザー登録カード兼保証書をご参照ください。


登録がない場合、または記入事項が正確でない、あるいは記入漏れのある場合は、無登録となりサポート・バージョンアップ等のサービスが受けられなくなる場合があります。

安全上の注意


ご使用になる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを次のように説明しています。


表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。


 **警告** この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。

 **注意** この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。


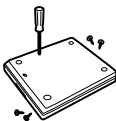



お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。(下記は絵表示の一例です。)

 このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。

 このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。

 このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

警告

 分解禁止	本機の分解や改造は絶対にしない (本体カバーを外すなど) 	レーザ光線による視力障害の原因になることがあります。 また、火災や感電の原因になります。 修理は弊社までご相談ください。
 禁止	本機上面や近くに液体容器や金属類を置かない	本機の内部に入り、火災や感電の原因になります。
 禁止	本機の内部に金属類や燃えやすいものを入れない	火災や感電の原因になります。
 禁止	コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流100V以外での使用はしない	たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

安全上の注意

警告

 禁止	ACアダプタ・電源コード・プラグを破損するようなことはしない 傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたりしない	傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。 A修理は、弊社までご相談ください。
 電源プラグを抜く	落としたりして破損したら、電源スイッチを切り電源プラグを抜く！	そのまま使用するとショートして、火災や感電の原因になります。 A修理は弊社までご相談ください。
 電源プラグを抜く	液体・異物などが内部に入ったら、電源スイッチを切り電源プラグを抜く！	そのまま使用するとショートして、火災や感電の原因になります。 A修理は弊社までご相談ください。
 電源プラグを抜く	煙が出たり変な臭いや音がしたら、電源スイッチを切り電源プラグを抜く！	そのまま使用するとショートして、火災や感電の原因になります。 A修理は弊社までご相談ください。
	電源プラグは根元まで確実に差し込む	差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。 A傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。
	電源プラグのほこり等は定期的にとる	プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因になります。 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。
 水ぬれ禁止	本機やACアダプタをぬらさない	火災・感電の原因になります。
 ぬれ手禁止	ぬれた手で、電源プラグの抜き差しをしない	感電の原因になります。
 接触禁止	雷が鳴りだしたら、電源プラグ、ACアダプタや本機の金属部に触れない	感電の原因になります。

安全上の注意

注意

 禁止	直射日光の当たる場所や異常に温度が高くなる場所には置かない	本機の内部温度が上昇して、火災の原因になります。
 禁止	湿気やほこりの多い場所や加湿器のある場所に置かない	火災や感電の原因になります。
 禁止	重たいものを載せたり、通風孔をふさぐような風通しの悪い場所に置かない	本機の内部温度が上昇し、火災の原因になります。
 禁止	ディスクカバーのすき間から内部をのぞき込まない	内部のレーザー光源を直視すると、視力障害を起こす原因になります。
 禁止	振動や衝撃のある場所や傾斜した場所、不安定な場所に置かない	落ちたり、倒れたりして、けがの原因になります。
 禁止	ひび割れや変形補修したディスクは使用しない	本機の内部で飛び散って、けがの原因になります。
 禁止	アクセスランプ（橙）の点灯している間は、パソコンの電源スイッチをOFFにしたり、システムをリセットしない	データを消失・破損する危険があります。
 禁止	電源プラグを接続したまま移動しない	電源コードが傷つき、火災の原因になることがあります。
	電源コードはプラグ部分を持って抜く	電源コードを引っ張ると、コードが傷つき、火災・感電の原因になることがあります。
 禁止	長時間直接接触して使用しない	ACアダプターの温度の高い部分に長時間直接接触して使用していると、低温やけどの原因になることがあります。













使用上のお願い

メディアの取り扱いについて

本機では、次のディスクが使用できます。

- ・必ず、下のいずれかの規格のロゴマークの入ったディスクをご使用ください。それ以外のディスクは、規格外のディスクとなり、故障の原因になります。
- ・規格外のディスクは、本機では動作を保証できません。また規格外のディスクを使用して本機が故障した場合は、有償修理となります。

本機で使用できるディスクの概要

- ・DVD-RAM は  のマークが入ったものをお使いください。
- ・DVD-ROM は  のマークが入ったものをお使いください。
- ・DVD-R は  のマークが入ったものをお使いください。
- ・DVD-RW は  のマークが入ったものをお使いください。
- ・DVD ビデオ は  のマークが入ったものをお使いください。
- ・ビデオ CD は  や  のマークが入ったものをお使いください。
- ・CD-R は  のマークが入ったものをお使いください。
- ・CD-RW は  や  のマークが入ったものをお使いください。
- ・CD-ROM は  のマークが入ったものをお使いください。
- ・音楽 CD は  のマークが入ったものをお使いください。

ディスクの状態(記録品質、傷、汚れ、変形、コピープロテクションなど)によっては正常に読み込めない場合があります。

DVD-RAMディスクの種類

本機は、カートリッジなし、およびTYPE2、TYPE4カートリッジから取り出したディスクのみ使用できます。5.2GB、2.6GBのディスクは読み取り専用となります。

DVD-RAMディスクは、「記録できるDVD」として、パソコンデータの大容量記録再生を目的に開発されたリムーバブルディスクです。

DVD-RAMディスクには、カートリッジの有無と型式により、以下のタイプがあります。

TYPE1: ディスクの取り出しができないため、本機では使用できません。

TYPE2: ディスクの取り出しができます。片面タイプで2.6GB、4.7GB。

TYPE4: ディスクの取り出しができます。両面タイプで5.2GB、9.4GB。

カートリッジなし: 片面タイプで4.7GB

DVD-RAMディスクが再生可能なDVD-ROMドライブやDVDプレーヤーではTYPE2またはカートリッジなしをご使用ください。

データの記録を可能にするためのドライブの設定方法

カートリッジなしディスクおよびTYPE2、TYPE4カートリッジから取り出したディスクへのデータ記録を可能にするためには、本機の設定が必要です。

詳細は本書の「カートリッジなしディスクツールの使い方」(Mac用: 26ページ)または「カートリッジなしディスク用ツールの使い方」(Windows用: 49ページ)をご参照ください。

ライトプロテクトの設定方法

4.7GB DVD-RAMディスクでは、カートリッジなし、およびTYPE2、TYPE4カートリッジから取り出したディスクをライトプロテクト(書き込み禁止)状態に設定することができます。

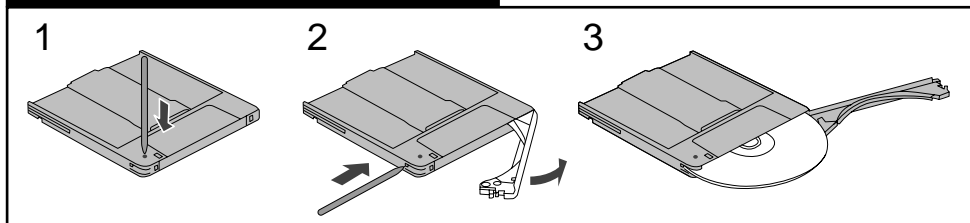
大切なデータが保存されている場合には、ライトプロテクトの設定を行ってください。

詳細は本書の「ライトプロテクト設定の使い方」(Mac用: 28ページ、Windows用: 50ページ)をご参照ください。

使用上のお願い

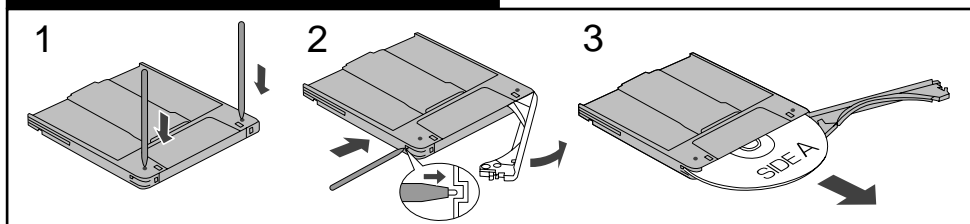
メディアの取り扱いについて(2)

TYPE2カートリッジからディスクを取り出すときは



1. ディスク取り出しロックピンを先のとがったもの(ボールペンなど)でピンを押し出します。
2. カートリッジ左手前側面にある開閉用のへこみを、とがったもので押さえ、開閉ふたを開けます。
3. 表面を汚したり、傷つけたりしないよう、ディスクを水平に取り出します。

TYPE4カートリッジからディスクを取り出すときは



1. ディスク取り出しロックピン(2ヶ所)を先のとがったもの(ボールペンなど)で押し出します。
2. カートリッジ左手前側面にある開閉用のへこみを、とがったもので押さえ、開閉ふたを開けます。
3. 表面を汚したり、傷つけたりしないよう、ディスクを水平に取り出します。

お願い

カートリッジから取り出したディスクの表面は、ごみやほこり、指紋などで汚れたり、傷つけたりしないでください。

また、落としたり、曲げたり、紙を貼らないでください。(記録したデータが読めなくなる原因になります。)

ディスクの取り出しかたは、メーカーにより異なる場合があります。ご使用のディスクの説明書をよく読んで取り出してください。

使用上のお願い

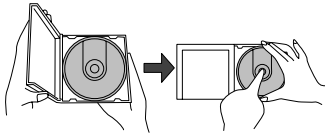
メディアの取り扱いについて(3)

ディスク(カートリッジなしDVD-RAM、DVD-R/RW、DVD-ROM、CD-R/RW、CD-ROMなど)

- ・汚したり、傷つけたりしないでください。
- ・温度、湿度の高い場所、直射日光の当たる場所に置かないでください。
- ・ごみやほこりの多い場所に置かないでください。
- ・ディスクの表面に触れないでください。
- ・落としたり、曲げたり、重いものを載せないでください。
- ・使用しないときはケースに入れて保管してください。
- ・温度差の激しい場所に置かないでください。(結露が生じます。)
- ・字を書いたり、紙を貼らないでください。
- ・ハードディスクやフロッピーディスクと同じように、定期的にバックアップ(データの複製)をとってください。
- ・大切なデータを保護するときは「ライトプロテクト」を設定してください。(c28.50ページ)

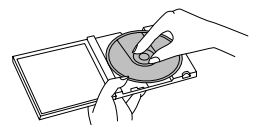
ケースからの出し方

中心部を押さえて取り出します。



ケースへの入れ方

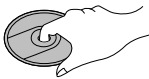
ラベルを上から押さえて入れます。



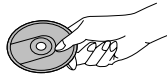
持ち方

ラベル印刷面の反対面に触れないでください。

よい例



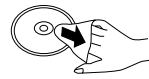
悪い例



汚れたときは

水を含ませた柔らかい布でふいた後、乾いた布で拭いてください。必ず内から外へ拭きます。

よい例



悪い例



お手入れについて

本機表面のお手入れについて

- ・電源を切り、電源コードをコンセントから抜きます。
- ・柔らかい乾いた布で、汚れを軽くふき取ります。
- ・汚れがひどいときは、うすめた台所用洗剤(中性)に布をひたし、よくしぼってから拭きます。
- ・化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。

レンズ、メディアのお手入れについて

- ・長時間使用すると、本機のレンズ、メディアにほこり等が付着して、正常に読み書きできなくなるおそれがあります。
- ・使用環境や使用回数によって異なりますが、別売りのクリーナーを用いて、1~4カ月に一度お手入れすることをお勧めします。

使用上のお願い

■ 使用場所について

夏季の閉め切った自動車内や長時間直射日光の当たるところ、暖房器などの近くで使用したり、放置しないでください。
変形・変色または故障の原因になることがあります。

■ ご使用について

- ・付属専用接続 ケーブル以外は使用しないでください。
本機やパソコンの故障の原因になることがあります。
- ・本機やディスクを結露した状態で使用しないでください。
寒い場所から暖かい場所へ急に持ち込むと、水滴が付着（結露）し、誤動作、故障の原因になることがあります。
 - ・ディスクを取り出し約1時間放置したのち、ご使用ください。
- ・本機に磁石など磁気をもつものを近づけないでください。
磁気の影響を受けて、動作が不安定になることがあります。
- ・隣接して使用しているラジオやテレビに雑音が入るときは
 - ・2m以上離してください。
 - ・同一コンセントでご使用の場合は、コンセントを別にしてください。

■ AC アダプタについて

付属の AC アダプタをご使用ください。
他の AC アダプタを使用すると、故障の原因になることがあります。

■ 規格外のディスクについて

- ・必ず、いずれかの規格のロゴマークの入ったディスクをご使用ください。それ以外のディスクは、規格外のディスクとなり、故障の原因になります。
- ・規格外のディスクは、本機では動作を保証できません。また規格外のディスクを使用して本機が故障した場合は、有償修理となります。

使用上のお願い

■ コピーコントロールCD について

- ・本機は、CD 規格（コンパクトディスクデジタルオーディオ）に準じていない「コピーコントロールCD」などについては、動作や音質の保証は致しかねます。
- ・CD 規格に準じた CD の再生や読み出しに支障がなく、上記のような特殊ディスクで支障が出る場合は、ディスクやパッケージ、印刷物などをよくお確かめのうえ、ディスクの発売元へお問い合わせください。

■ 書き込みについて

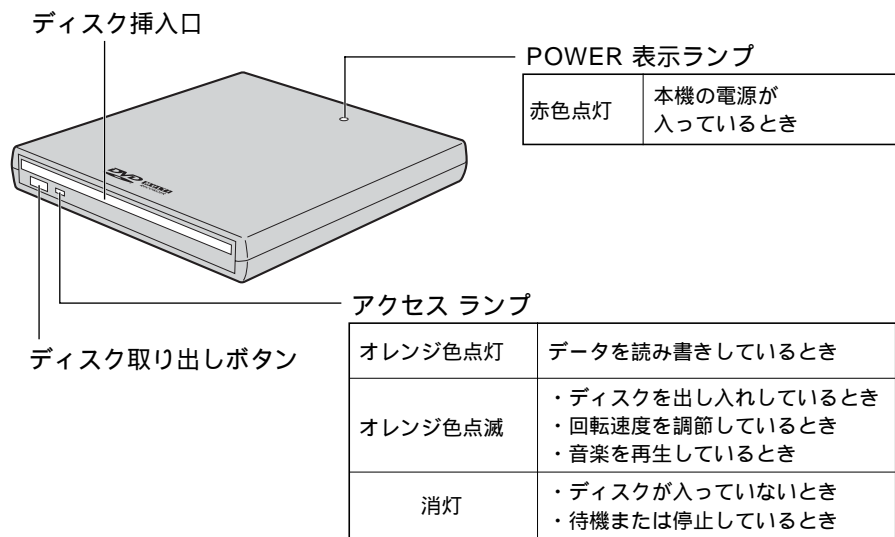
- ・本製品の使用や故障により生じたデータの損失ならびに直接的、間接的な損害につきましては、当社は一切の保証をいたしません。あらかじめご了承ください。
- ・重要なデータに関しては、万一に備えて元データと照合（ファイルコンペア等）を追加した状態で書き込みやバックアップ（複製）を行ってください。
- ・ディスクへの書き込み中には振動を与えないでください。

■ 著作権について

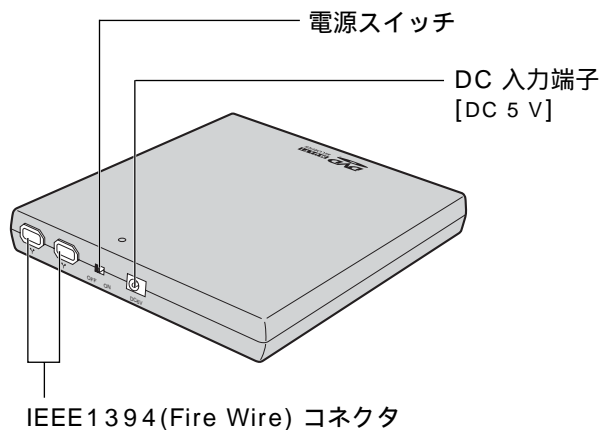
- ・本機を利用して音楽用CD 等の各種ディスク、インターネット上の画像や情報等著作権の対象となっている著作物を、複製または編集することについては、著作権法上、個人または家庭内など限られた範囲内での使用（以下「私的使用」と言います）のみ許容されます。
- ・利用者が著作権をお持ちでない著作物を権利者に無断で複製、編集することは著作権法で禁じられています。また、著作物によっては、その使用許諾条件で複製が制限されたり、禁じられている場合がありますので、「私的使用」を目的とする場合でも使用許諾条件の内容に従ってください。

各部のなまえとはたらき

前面 / 上面 / 右側面



背面



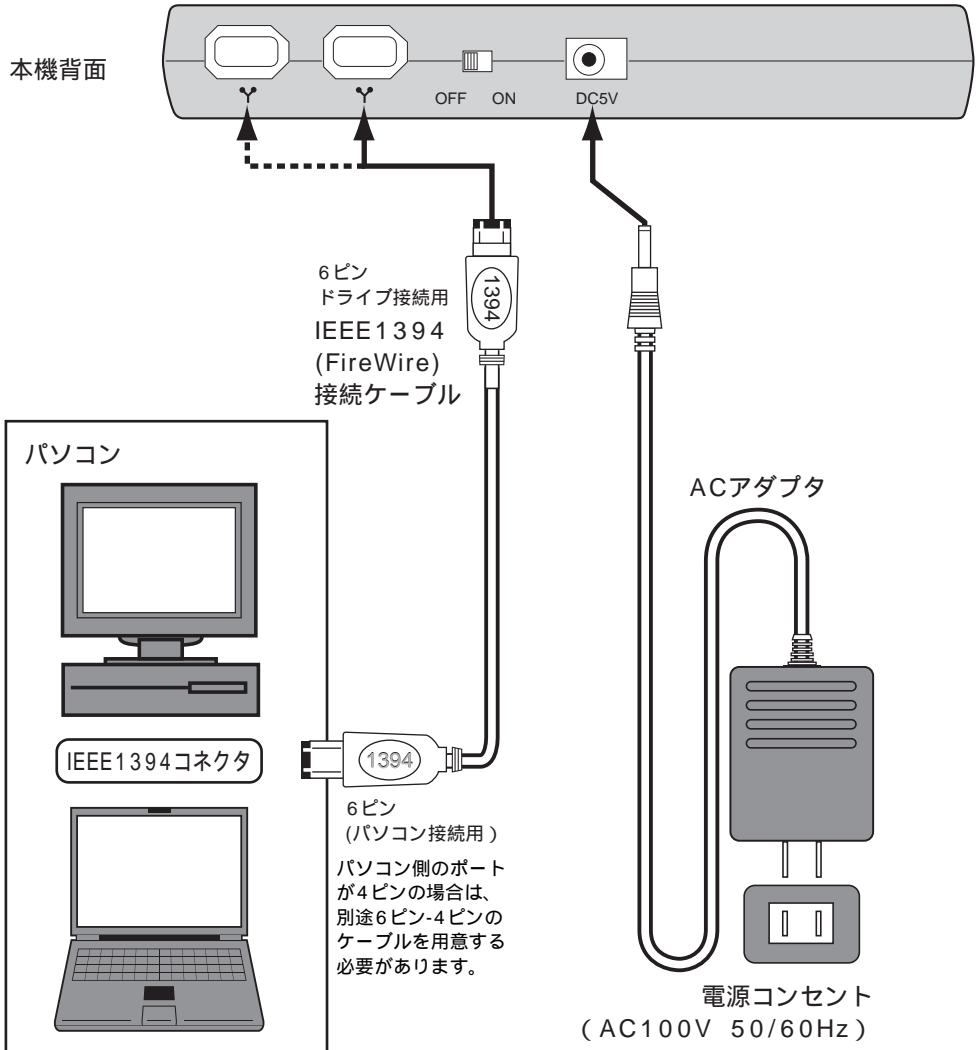
お知らせ

Dディスク取り出しボタンは、ソフトウェアのフリーズなどによりディスクが取り出せなくなったときのみご使用ください。通常はソフトウェアの操作により取り出してください。

接続のしかた

接続する前のご注意

- ・ 接続する装置の説明書もよくお読みください。
- ・ 接続用のケーブル類は、確実に差し込んでください。



ディスクの出し入れ

本機は、電動でディスクを出し入れします。
ディスクを入れるときは、先に本機の電源を入れておいてください。

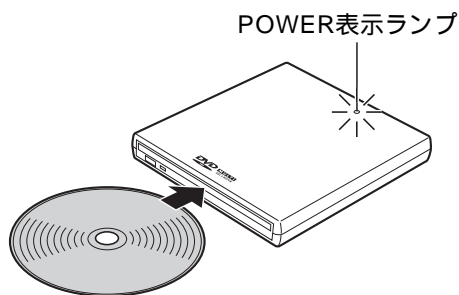
入れる

本機の電源を入れる

本機背面の電源スイッチを「ON」にします。本機のPOWER表示ランプが点灯します。

ディスクを、ラベル面を上にして、 ディスク挿入口に差し込む

少し差し込むと自動的に引き込まれます。
無理に押し込まないでください。



取り出す

通常は、OSなどのソフトウェアの操作でディスクを取り出します。これにより、誤って書き込み中に取り出したためにディスクが使用できなくなる事故を防ぐことができます。

パソコンがフリーズした場合など、ソフトウェアの操作ではディスクを取り出せなくなったときのみ、以下の操作をしてください。

本機の電源が切れている場合は、電源を入れる

本機背面の電源スイッチを「ON」にします。

ディスク取り出しボタンを押す

ディスクが自動的に半分ほど出てきます。

ディスクを抜き取る

ディスクの記録面に手を触れないように
注意して抜き取ってください。



お知らせ

挿入したディスクが取り出せなくなった場合、51ページの「困ったとき!？」を参照してお調べください。それでも直らない場合は53ページの弊社ユーザーサポートセンターにご連絡ください。

使用できるディスクについて

各種機能

PIX-SLRR/F1H で使用できるディスクについて紹介します。

- 1 DVD メディアについて
- 2 CD メディアについて
- 3 DVD-Video の再生について

使用できるメディアについて

DVD メディア

ディスクの種類とデータ転送速度

「-」=書き込み不可

1倍速=1,385 KB/sec

	ディスク	書き込み速度	読み出し速度
DVD-RAM	9.4GB(両面)、4.7GB(片面)	2倍速	2倍速
	5.2GB(両面)、2.6GB(片面)	-	1倍速
DVD-ROM	シングルレイヤー(1層)	-	最大8倍速
	デュアルレイヤー(2層)	-	最大4倍速
DVD-Video		-	最大4倍速
DVD-R	4.7GB (for General, Ver. 2.0)	2倍速/1倍速	最大4倍速
	4.7GB (for Authoring, Ver. 2.0)	-	最大4倍速
	3.95GB (for Authoring, Ver. 1.0)	-	最大4倍速
DVD-RW	4.7GB Ver. 1.0	-	最大4倍速
	4.7GB Ver. 1.1	1倍速	最大4倍速

DVD-RAM：繰り返しデータの書き込みができる(リライタブル)DVDです。

DVD-ROM：読み出し専用のDVDです。映画などの映像を記録したものがDVD-Videoです。

DVD-R：一度だけ書き込みが可能なDVDです。記憶容量が片面3.98 GBのVer. 1.0規格と、片面4.7 GBのVer. 2.0規格があります。

DVD-RW：書き込んだデータ全体または最後のボーダーが消去でき、再度書き込みや書き換えが可能なDVDです。

読み出し専用のディスク

以下のディスクは、本機ではデータを書き込むことができないため、読み出し専用のディスクとなります。

- ・DVD-RAM 2.6 GB、5.2GB(TYPE2、TYPE4)
- ・DVD-ROM
- ・DVD-Video
- ・DVD-R for Authoring
- ・DVD-RW Ver.1.0(旧規格のDVD-RWです)

DVD-RAM 5.2GB TYPE1のディスクは、ディスクの取り出しができないため、本機では使用できません。

DVD-Rの4倍速対応ディスクは2倍速での書き込みのみ可能です。

本機では使用できないディスク

以下のディスクは、本機では使用できません。

- ・DVD-RAM 5.2 GB(TYPE1)
- ・DVD-RAM 1.4 GB、2.8 GB(8cmDVD)



8cmDVDや規格外のDVDは本機に挿入しないでください。取り出せなくなる場合があります。

規格外のディスクなどを本機に挿入して取り出せなくなった場合は、有償修理となります。

カートリッジ入りのDVD-RAMディスクは、必ずカートリッジから取り出してご使用ください。

使用できるメディアについて

CD メディア

ディスクの種類とデータ転送速度

「 - 」=書き込み不可 1倍速=150 KB/sec

ディスク		書き込み速度	読み出し速度
CD-ROM		-	最大24倍速
CD-R		16倍速/8倍速/4倍速	最大24倍速
CD-RW	1 - 4倍速	4倍速	最大12倍速
	4 - 12倍速(High Speed)	8倍速/4倍速	

CD-ROM：読み出し専用のCDです。

CD-R：一度だけ書き込みが可能なCDです。一度書き込んだデータの消去や書き換えはできません。

CD-RW：書き込んだデータ全体または最後のセッションが消去でき、再度書き込みや書き換えが可能なCDです。

CDの対応フォーマット(読み込み)

CD-DA(音楽CD)：音楽CDのフォーマットです。

CD-ROM Mode1：デジタルデータを記録するためのフォーマットです。

CD-ROM XA Mode2：マルチメディアに適したフォーマットで、データと音声・画像を混在させたフォーマットです。

CD-Extra：1つ目のセッションにオーディオデータを書き込み、2つ目以降のセッションにXA Mode2のデータを記録するフォーマットです。

Photo CD：写真のイメージデータをCD-ROMに記録し、家庭用テレビで再生したり、コンピュータで使用したりするためのもので、Kodak社が開発したフォーマットです。

Video CD：映画などの動画をMPEG-1方式で圧縮してCDに収めたタイトル、またはそのフォーマットのことで、

CD-R/RWの書き込み方式

ディスクアットワンス：ディスク全体に一度にまとめてデータを書き込む方式です。後から追加書き込みをすることはできません。

推奨メディア

下記メーカー製のディスクを推奨します。

DVD-RAM：松下電器産業(株)

DVD-R for General：松下電器産業(株)、TDK(株)、三菱化学(株)

DVD-RW：日本ビクター(株)、TDK(株)

CD-R：太陽誘電(株)、(株)リコー

CD-RW：三菱化学(株)、(株)リコー

△ご注意

名刺型、カード型などの特殊な形状のCDや8cmCD(シングルCD)は、本機では使用できません。挿入すると、取り出せなくなる場合があります。

規格外のCDや特殊な形状のCDを本機に挿入して取り出せなくなった場合は、有償修理となります。

DVD-Videoの再生について

DVD-Video の再生

本機では、市販の映画タイトルなどのDVD-Videoを再生することができます。DVD-Videoの再生には、別途 MPEG-2 デコーダボードや DVD 再生ソフトが必要となります。



注意

Macintosh 環境では Apple DVD Player が正常に動作する環境が必要です。Apple DVD Player では外付型ドライブで再生できる機種に制限があります。

Macintosh での使用方法

ソフトウェアのインストール

ユーティリティソフトについて

本機でDVD/CDメディアを活用するためのユーティリティソフトをご使用のMacintoshにインストールします。(ドライバ・アプリケーションはすべてMac OS 8.6～9環境でのみ利用します。Mac OS Xで利用される場合は、「Mac OS Xでの利用について」(21ページ)をご参照ください。

Pixe VRF BrowserはMac OS 9.0.4以降の対応です。

DVD-RAM ユーティリティ

DVD-RAMのフォーマットやカートリッジなしディスク(4.7GBのみ)およびTYPE 2、TYPE 4カートリッジから取り出したディスクへのデータ記録、ライトプロテクト(書き込み禁止)の設定を行うことができます。

ライトプロテクト設定のみDVD-RWも利用可能です。

Pixe Burn! 3

DVD-R/RW、CD-R/RWに対応したライティングソフトです。データCDや音楽CD、データDVDのライティングに加えて、DVD-Video、Video CDのオーサリングおよびライティング機能を搭載しています。

UDFフォーマットは、Mac OS 9環境のみ対応。

Pixe VRF Browser

本機を利用してDVD-RAMディスクに「ビデオレコーディングフォーマット」で記録された映像ファイルの読み込みを行うソフトウェアです。読み込んだ映像は不要な部分をMPEGエディタで映像劣化のない編集を行い、弊社製DVD/VCDオーサリングソフトウェア「Capty DVD/VCD」や「Pixe Burn! 3」、Apple社製DVD-Videoオーサリングソフトウェア「DVD Studio Pro」の素材として書き出す機能を装備しています。

PIX-リージョン設定

本機のリージョン番号を設定するユーティリティソフトです。DVD-ROMやDVD-Videoは再生できる地域がリージョン番号で指定されており、再生するためにはドライブのリージョン番号を一致させる必要があります。

PIX-FW driver

本機をFireWire (IEEE1394) 接続するためのドライバソフトウェアです。[システムフォルダ]の[機能拡張]フォルダにインストールされます。

PIX-MediaLib / PIX-DACD Support

ユーティリティソフトを使用するための機能拡張書類です。[システムフォルダ]の[機能拡張]フォルダにインストールされます。

上記の他にFireWire関連のApple社製ドライバ(FireWire Support、FireWire Enabler)が必要です。もし、機能拡張フォルダにインストールされていない場合は、Mac OSのCD-ROMからインストールしてください。また、ドライバのバージョンは2.2.2以上を推奨いたします。最新のドライバはApple社のWebサイトからダウンロード可能です。

ソフトウェアのインストール

Mac OS 8.6 ~ 9 での利用について

インストールの手順 (Mac OS 8.6 ~ 9 の場合)

- 1 CD-ROM ドライブに「pixela」CD-ROM をセットします。
- 2 デスクトップに表示されたCD-ROM アイコン [pixela] をダブルクリックして開きます。
- 3 [PIX-F1H インストーラ] アイコンをダブルクリックします。
メッセージに従ってインストールを進めます。
ドライバは機能拡張フォルダに、アプリケーションは「PIX-SLRR/F1H」フォルダにインストールされます。
- 4 インストール後、再起動を行うことでインストールは完了です。

Mac OS X での利用について

本機では Mac OS X 環境では OS 標準のドライバを利用して接続します。OS の制限事項により、DVD-RAM メディアの UDF ファイルシステムは利用できません。

インストールの手順 (Mac OS X の場合)

Mac OS X の場合、ドライバのインストールは必要ありません。

ドライブの電源が入った状態で、FireWire ケーブルを Macintosh 本体に接続することで自動的に認識されます。

CD-ROM 内の Mac OS X フォルダ内の PIX-SLRR/F1H フォルダをハードディスク内の任意の場所 (例: Application フォルダなど) にコピーします。

DVD-RAMの使い方 (Mac OS 9)

論理フォーマット (初期化) の方法

Mac OS 9 で利用できる DVD-RAM ディスクフォーマット形式には下記の種類があります。用途に合わせて形式を使い分けてください。

UDF (Universal Disk Format) 形式 (UDF 1.5 形式のみ)

DVD 用のフォーマットで、DVD-ROM、DVD-R/RW、DVD-RAM 間でデータ互換を保つための論理フォーマットです。Macintosh Windows間でDVD-RAMディスクを共用することができます。(47・48 ページ参照) 大きなファイル (画像、音声データ) の読み書きは高速に行うことができます。(Mac OS 8.6、Mac OS X では利用できません)

OS の制限により、1 ファイルは 2GB までの容量になります。

Mac OS 標準 / 拡張形式

Mac OS の標準フォーマットで、従来のハードディスクやMOで使用されている論理フォーマットです。UDF 形式に比べて、文書ファイルのような小さなデータの読み書きに適しています。

フォーマットの手順

- 1 「DVD-RAM ユーティリティ」をダブルクリックで起動します。

ハードディスクにインストールされている「DVD-RAM ユーティリティ」のアイコンをダブルクリックします。



DVD-RAM ユーティリティ

起動する前には、フォーマットしたいディスクをセットしないでください。

- 2 [RAM ディスクフォーマッタ] が起動します。

セットしたディスクが検索されて、フォーマット設定画面で設定が可能になります。

- 3 デバイス一覧から本機のデバイス名を選択し、初期化したいディスクをセットします。

複数の PIX-SLRR/F1H が接続されている場合には、その一覧が表示されます。

- 4 「初期化」にチェックを入れます。

初期化の設定が可能になります。

- 5 ボリューム名の設定、初期化の形式の選択を行います。

ディスクに複数のパーティションを作成することもできます。24 ページ「パーティションを作成する」をご覧ください。

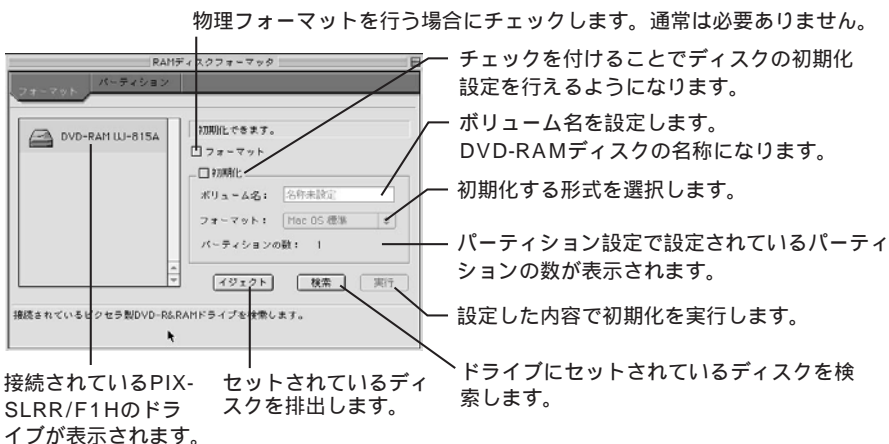
- 6 [実行] をクリックします。

確認のメッセージが表示されるので、[OK] をクリックすると初期化が開始されます。

DVD-RAMの使い方 (Mac OS 9)

7 RAM ディスクフォーマットを終了します。

初期化が完了すると、フォーマット設定画面に戻ります。ファイルメニューから [終了] を選択して [RAM ディスクフォーマット] を終了します。ディスクがデスクトップに表示され使用可能になります。



DVD-RAMディスクのフォーマットは、必ず[RAMディスクフォーマット]を使用してください。Mac OS の [特別] メニューからの初期化は行わないでください。

本機は起動ディスクとしては使用できません。

フォーマットについて

- ・ UDF形式で論理フォーマット後のDVD-RAMディスクは、ディスクの使用領域が128KBと表示されます。

DVD-RAMの使い方 (Mac OS 9)

パーティションを作成する

RAMディスクフォーマッタでは、通常の初期化に加えて、ディスクの領域をいくつかに分割するパーティションを作成することができます。パーティションを作成できるのは、Mac OS 標準または、Mac OS 拡張形式だけです。UDF や DOS 形式ではパーティションの作成は行えません。

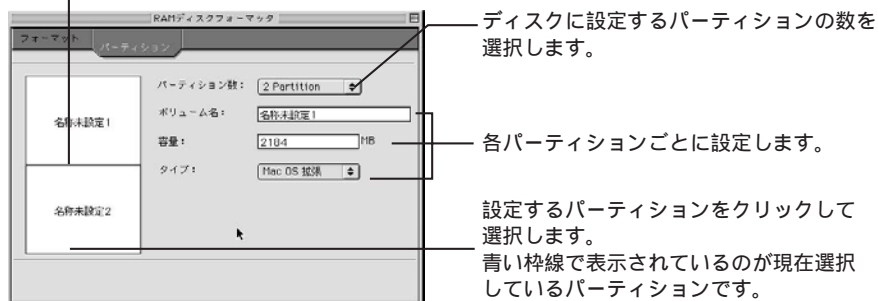
- 1 前項の手順で[RAM ディスクフォーマッタ]を起動して、「初期化」にチェックを入れます。
- 2 [パーティション]タブをクリックして、パーティション設定画面を表示します。
- 3 パーティション数を[パーティションの数]ポップアップメニューから選択します。
左の[パーティション編集]エリアが、設定したパーティションの数で分割されます。
- 4 各パーティションのボリューム名、サイズ、形式を設定します。

設定したパーティションそれぞれに設定します。左の[パーティション編集]エリアで設定するパーティションをクリックして選択してから設定します。

左の[パーティション編集]エリアの区切り線をドラッグしてサイズを編集することもできます。

パーティションを作成した場合は、UDF や DOS などの形式は選択できません。

パーティションの区切り線をマウスでドラッグしてサイズを編集できます。



- 5 [フォーマット]タブをクリックしてフォーマット設定画面に戻ります。
パーティションを設定している場合は、フォーマット画面での設定はできません。
- 6 [実行]をクリックします。
確認のメッセージが表示されるので、[OK]をクリックするとフォーマットが開始されます。
- 7 RAM ディスクフォーマッタを終了します。

初期化が完了すると、フォーマット設定画面に戻ります。ファイルメニューから[終了]を選択して[RAMディスクフォーマッタ]を終了します。ディスクがデスクトップに表示され使用可能になります。

DVD-RAMの使い方 (Mac OS X)

論理フォーマット (初期化) の方法

Mac OS X で利用できる DVD-RAM ディスクフォーマット形式には下記の種類があります。

Mac OS 標準 / 拡張形式

Mac OS の標準フォーマットで、従来のハードディスクや MO で使用されている論理フォーマットです。UDF 形式に比べて、文書ファイルのような小さなデータの読み書きに適しています。

フォーマットの手順

1 ディスクユーティリティを起動します。

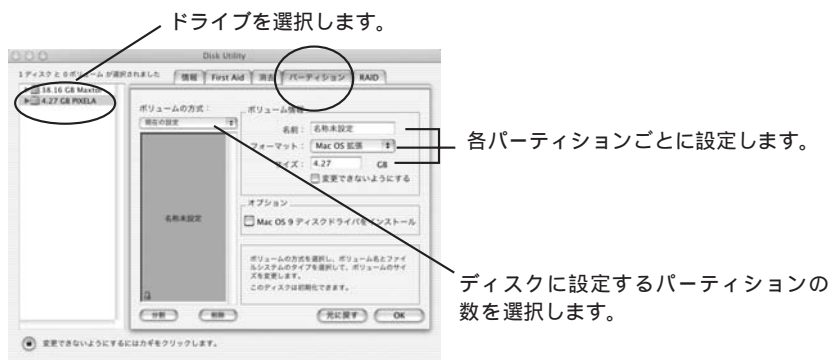
フォーマットには OS 標準で添付されている、「ディスクユーティリティ」ツールを利用します。



ディスクユーティリティ

2 ドライブを選択し、「消去」タブをクリックしてフォーマット設定を行います。

利用できるファイルシステムは Mac OS 基本または Mac OS 拡張フォーマットのみです。その他のフォーマットは利用できません。



DVD-RAMの使い方

カートリッジなしディスクツールの使い方

本製品には、カートリッジなしディスク用ツールソフト[カートリッジなしディスクツール]が付属しています。本機でカートリッジなしディスクを有効に、より活用していただくためのソフトウェアです。

「カートリッジなしディスクツール」には

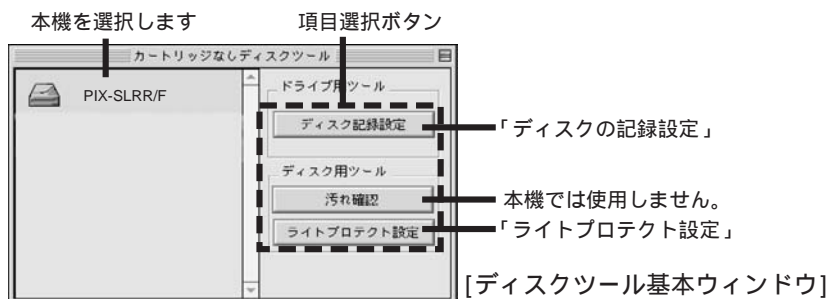
- 本機のカートリッジなしディスクへの記録動作を設定する
- ディスクのソフトウェアライトプロテクトを設定 / 解除する

以上の機能があります。

本ツールソフトは9.4GB/4.7GB DVD-RAMディスク専用です。2.6GB DVD-RAMディスクは、ソフトウェアライトプロテクト機能には対応していません。

Mac OS 8.6 ~ 9 の場合

- 1 「DVD-RAM ユーティリティ」を起動し、ディスクをセットします。
- 2 ツールバーの「ウィンドウ」より「カートリッジなしディスクツール」を選択します。
- 3 ディスクツール基本ウィンドウが表示されますので、使用したい機能を選択してください。

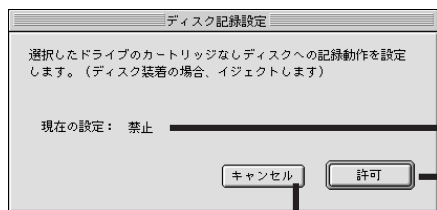


Mac OS X の場合

- 1 「RAM Utility」を起動し、ディスクをセットします。
- 2 基本ウィンドウが表示されますので、使用したい機能を選択してください。

DVD-RAMの使い方

[ディスクの記録設定] の使い方



本機のカートリッジなしディスクへの記録動作の設定状態を表示します。

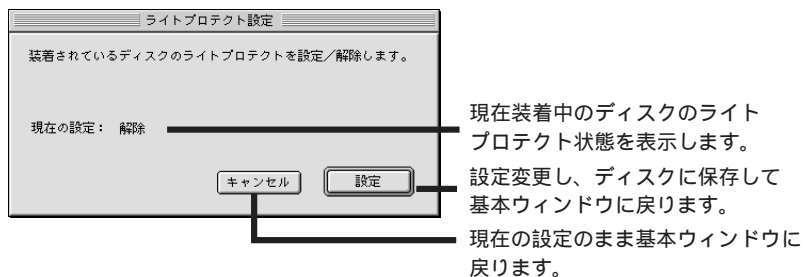
設定変更し基本ウィンドウに戻ります。

現在の設定のまま基本ウィンドウに戻ります。

- ・禁止：ディスクはリードオンリー（再生専用）になります。
- ・許可：ディスクはリード、ライト（記録・再生）とも可能になります。

DVD-RAMの使い方

[ライトプロテクト設定]の使い方



- ・設定：ディスクはリードオンリー（再生専用）になります。
- ・解除：ディスクはリード、ライト（記録・再生）とも可能になります。

DVD-RWは「ライトプロテクト設定」のみ利用できます。

DVD-R/RWの使い方

「Pixe Burn! 3」の利用について

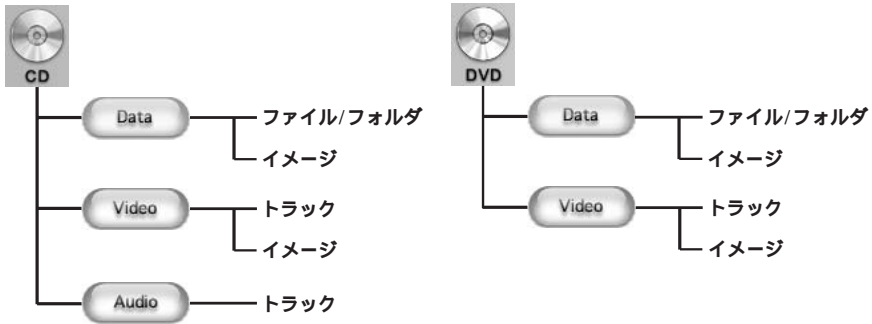
「Pixe Burn! 3」はDVD-R/RW、CD-R/RWに対応したライティングソフトです。データCDや音楽CD、データDVDのライティングに加えて、DVD-Video、Video CDのオーサリングおよびライティング機能を搭載しています。

本アプリケーションでは、DVD-Videoのチャプターメニューなどは作成できません。同梱の「Capty DVD/VCD」をご利用ください。

本アプリケーションは、フォーマット機能は備えていません。

Pixe Burn! 3 でできること

- ・ファイルやフォルダをリストに登録してデータDVDを作成できます。
- ・あらかじめ作成したイメージファイルをマウントして、ファイルやフォルダを追加することもできます。
- ・DVD-Video、Video CDのオーサリングができます。
(DVD-Videoの作成は、同梱のオーサリングソフト「Capty DVD/VCD」でも可能です。)
- ・ディスクの作成形式を、「ファイル」、「イメージ」、「トラック」の各モードから選択できます。



シリアル番号の登録

「Pixe Burn! 3」は初回起動時のみシリアル番号の入力が必要です。シリアル番号は同梱のPIX-SLRR/F1Hのユーザー登録カード兼保証書に記載されていますのでご確認ください。

「Pixe Burn! 3」を起動させると、下記ダイアログボックスが表示されます。「名前」、「会社名」、および「シリアル番号」を入力し、「OK」をクリックしてください。

氏名、または会社名を入力してください。
シリアル番号は、「ユーザー登録のご案内」シートに記載されている22ケタの（「」も含む）番号を正確に入力してください。

名前:

会社名:

シリアル番号:

「名前」または「会社名」のいずれかは省略することができます。

半角大文字英数字のみ

DVD-R/RWの使い方

DVD-Video の作成

DVD-Video 作成の手順

- 1 [Pixe Burn! 3] をダブルクリックして起動します。

「Pixe Burn! 3」の操作画面が表示されます。ディスクは、まだセットしないでください。

- 2  をクリックして選択します。

(Video CD 作成時は [CD] をクリックしてください)

- 3  をクリックして選択します。

- 4 ディスク作成形式を選択します。

ディスク作成形式は「トラック」と「イメージ」の2形式を選択できます。



「イメージ」形式でディスクを作成するには、あらかじめディスクイメージを作成して、ハードディスクに保存しておく必要があります。(33 ページ参照)

トラックモードを選択した場合



ループ再生とは
Videoディスク再生時に、最終動画ファイルを再生後、最初の動画ファイルに戻って再生を繰り返すことです。

- 5 登録したい動画ファイルをリストウィンドウにドラッグ & ドロップします。

・  (追加) /  (削除) で動画ファイルを追加または削除できます。

DVD-R/RWの使い方

- 6  (エンコード設定)でエンコードする内容を設定し、 をクリックします。

設定したエンコードは  で実行できます。



映像設定

- 形式 : 映像形式を選択します。
- フレームサイズ : 画面サイズを選択します。
- ビットレート : 映像ビットレートを指定します。

音声設定

- 形式 : 音声形式を選択します。
- ビットレート : 映像ビットレートを指定します。

サイズ変更

レターボックス : 4 : 3 のフレームサイズに合致しないムービーを変換する場合、元フレーム全体を入れて余白を黒にします。

パンスキャン : 4 : 3 のフレームサイズに合致しないムービーを変換する場合、表示範囲をズームしてはみだす部分をカットします。


速度を優先する : チェックボックスをチェックすることで速度優先処理でエンコードします。

登録ファイル名をダブルクリックすると、エンコード情報を確認できます。





リストウィンドウの上部中央にある容量を確認してください。この容量が 4.3GB 以上では、DVD-R/RW ディスクの容量を超えてしまうので書き込みができません。総容量は Macintosh のディスク上の目安ですので DVD-R/RW ディスクに容量一杯まで書き込むとしても 4.3GB よりなるべく少なめに登録することを推奨します。

DVD-R/RWの使い方

- 7  (ライティング) をクリックすると、「ドライブにディスクをセットしてください」とメッセージが表示された後に、ドライブにディスクをセットし、ライティングを実行します。
- ・プロジェクト保存先を指定します。
 - ・登録されているコンテンツをエンコードします。
 - ・PIX-SLRR/F1H ドライブを選択します。
 - ・本機のみが接続されている場合は必要ありません。
 - ・DVD-R/RW ディスクをドライブにセットします。
 - ・「イメージ作成」および「ディスクへの書き込み」を表わす進行バーが表示され、ディスクへの書き込みが行われます。

イメージモードを選択した場合



- 5 DVD ディスクイメージファイルをディスクイメージウィンドウにドラッグ&ドロップします。
- ・ドラッグ&ドロップ以外に  でDVD ディスクイメージファイルを選択することもできます。
- 6  (ライティング) をクリックして、ドライブにディスクをセットし、ライティングを実行します。
- ・PIX-SLRR/F1H ドライブを選択します。
 - ・本機のみが接続されている場合は必要ありません。
 - ・DVD-R/RW ディスクをドライブにセットします。
 - ・「イメージ作成」および「ディスクへの書き込み」を表わす進行バーが表示され、ディスクへの書き込みが行われます。

DVD-R/RWの使い方

DVD-Video ディスクイメージの利用について

イメージ形式でDVD-Videoを作成するためには、DVD-Videoのオーサリングソフトウェアを使用してオーサリングを行った後でDVD-Videoのディスクイメージを作成します。Paxe Burn! 3ではこのディスクイメージを読み込んでDVD-R/RWディスクに書き込み作業を行います。書き込んで作成されたDVDディスクは、市販のDVDプレーヤーなどで再生することができます。

DVD-Videoオーサリングソフトとして、弊社製「Capty DVD/VCD」、もしくはApple社製「DVD Studio Pro」で作成したDVD-Videoディスクイメージの書き込みに対応しています。

弊社製「Capty DVD/VCD」の使用方法につきましては、付属の「Capty DVD/VCD取扱説明書」をご参照ください。



注意 作成するイメージファイルのサイズは4.3GB以内に収まるように作成してください。Mac OS上では1GBは1024MBの計算になりますが、DVD-R/RWではGBは1000MBとして計算しています。このため4.7GBのDVD-R/RWディスクに実際に書き込み可能なサイズは、約4.3GBとなります。

DVD-R/RWの使い方

データ DVD の作成

データ DVD 作成の手順

- 1 「DVD-Video 作成の手順」の手順 1、2 を行います。

「Pixe Burn! 3」の操作画面が表示されます。ディスクは、まだセットしないでください。

- 2  をクリックして選択します。

- 3 ディスク作成形式を選択します。

ディスク作成形式は「ファイル」と「イメージ」の2形式を選択できます。



「イメージ」形式でディスクを作成するには、あらかじめディスクイメージを作成して、ハードディスクに保存しておく必要があります。(33 ページ参照)


ファイルモードを選択した場合



- 4 リストウィンドウにデータとして書き込むファイル/フォルダを登録します。


下記の方法で登録します。

Mac OS のファインダからファイルやフォルダをドラッグ&ドロップで登録する。

画面下の  (追加) をクリックして、選択ダイアログから指定して登録する。

DVD-R/RWの使い方

リストの整理

 (新規フォルダ) をクリックしてリストにフォルダを追加することができます。

登録したファイル、フォルダをドラッグして他のフォルダに入れたり、並び替えたりできます。

リストウィンドウの上部中央にある容量を確認してください。この容量が 4.3GB 以上では、DVD-R/RW ディスクの容量を超えてしまうので書き込みができません。総容量は Macintosh のディスク上の目安ですので DVD-R/RW ディスクに容量一杯まで書き込むとしても 4.3GB よりなるべく少なめに登録することを推奨します。

5 リストウィンドウの上部にある「形式」ポップアップメニューから作成するディスクの形式を選択します。

Mac OS 拡張 : Mac OS で利用できる形式です。Mac OS のみで読み取り可能です。

UDF : Mac OS や Windows で利用できる DVD の標準形式です。

6 (ライティング) をクリックすると、「ドライブにディスクをセットしてください」と表示された後に、ドライブにディスクをセットし、ライティングを実行します。

イメージモードを選択した場合

・画面は「DVD-Video の作成」と同様です。

4 DVD ディスクイメージファイルをディスクイメージウィンドウにドラッグ & ドロップします。

・ドラッグ & ドロップ以外に  で DVD ディスクイメージファイルを選択することもできます。

5 (ライティング) をクリックすると、「ドライブにディスクをセットしてください」と表示された後に、ドライブにディスクをセットし、ライティングを実行します。

・PIX-SLRR/F1H ドライブを選択します。

・本機のみが接続されている場合は必要ありません。

・DVD-R/RW ディスクをドライブにセットします。

・「ディスクへの書き込み」を表わす進行バーが表示され、ディスクへの書き込みが行われます。

DVD-R/RWの使い方

音楽CDの作成

音楽CD作成の手順

- 1 [Pixe Burn! 3] をダブルクリックで起動します。

「Pixe Burn! 3」の操作画面が表示されます。

- 2  をクリックして選択します。

- 3  をクリックして選択します。



- 4 トラックリストウィンドウに音楽データを登録します。

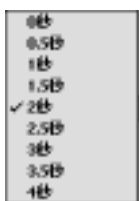
下記のどちらかの方法で登録します。

Mac OSのファインダから音楽データをドラッグ&ドロップで登録する。

画面下の  (追加) をクリックして、選択ダイアログから指定して登録する。




Quick Time がサポートする音楽ファイルが登録可能です。

- 5 リストウィンドウの下部にある「ポーズ時間設定」ポップアップメニューからポーズ時間を選択します。



「ポーズ時間」とは、曲間の無音時間のことです。

CD-R/RWの使い方

- 6  をクリックし、保存する名称と保存先を指定します。
 - ・保存する名称と保存先を指定するためのダイアログが表示されます。
- 7 登録されているコンテンツを選択し、 をクリックします。
 - ・選択したコンテンツが AIFF 形式に変換されます。
- 8  (ライティング) をクリックすると、「ドライブにディスクをセットしてください」と表示された後に、ドライブにディスクをセットし、書き込みを実行します。
 - ・PIX-SLRR/F1H ドライブを選択します。
 - ・本機のみが接続されている場合は必要ありません。
 - ・CD-R/RW ディスクをドライブにセットします。
 - ・「イメージ作成」および「ディスクへの書き込み」を表わす進行バーが表示され、ディスクへの書き込みが行われます。

上記の手順7は省略することもできます。省略した場合でも、AIFF形式への変換は、ライティングを実行したときに自動的に行われます。

Video CD、データ CD の作成

Video CD 作成の手順

操作手順は 30 ページ「DVD-Video 作成の手順」をご参照ください。

データ CD 作成の手順

操作手順は 34 ページ「データ DVD 作成の手順」をご参照ください。

ディスクイメージメニューについて

Pixe Burn! 3では、仮想ボリュームを作成してデスクトップにマウントし、ファイルをコピーしてイメージファイルを作成したり、データディスクやDVD-Video、Video CDのディスクイメージを作成することができます。また、作成したイメージファイルは、DVD、CDの各イメージモードでディスクにライティングできます。

仮想ディスクの作成とイメージのマウント

ファイル形式と容量を指定した仮想ディスクイメージを作成し、そのイメージをデスクトップにマウントしてファイルやフォルダを保存できます。

- 1 「メニュー」から[ディスクイメージ] - [仮想ディスクの作成]を選択します。
- 2 作成する仮想ディスクの「形式」と「容量」を設定し、「ボリュームの名前」を入力して「OK」をクリックします。
- 3 保存先を指定して、「OK」をクリックします。
 - ・ディスクイメージファイルが作成され、自動的にデスクトップに仮想ディスクがマウントされます。

マウントした仮想ディスクには、ファイルやフォルダをコピーして記録できます。

仮想ディスクアイコンをゴミ箱にドロップすることで、マウントを解除できます。

作成したイメージファイルをデスクトップにマウントするには、「メニュー」の[ディスクイメージ] - [イメージのマウント]を選択して、保存したディスクイメージファイルを指定します。

デスクトップにマウントされたら、Pixe Burn! 3を終了してもマウントは解除されません。

ディスクイメージファイルは、Pixe Burn! 3のイメージモードでDVD-R/RWやCD-R/RWにライティングできます。

ディスクイメージメニューについて

ディスクイメージの作成

ファイルモードやトラックモードに登録した内容を、ディスクイメージとして保存できます。あらかじめ仮想ディスクを作成して記録する「仮想ディスクの作成」とは違い、登録するファイルやフォルダをリストウィンドウで整理してからイメージファイルを作成することができます。

- 1 リストウィンドウにデータファイルや動画ファイルなどのコンテンツを登録します。
- 2 「メニュー」から [ディスクイメージ] - [イメージの作成...] を選択します。
- 3 ファイル名、保存先を指定して、「OK」をクリックします。
 - ・プロジェクトが保存されていない場合は、保存先、ファイル名を指定して保存します。

VideoやAudioモードの場合は、必要に応じて動画、サウンドファイルを変換したあとにイメージファイルを作成してください。

保存したファイルは、Paxe Burn! 3の各イメージモードでDVD-R/RWやCD-R/RWにライティングできます。

本メニューで作成したVideo CDディスクイメージは、「メニュー」の[ディスクイメージ] - [イメージのマウント]ではマウントできません。データディスク、DVD-Videoのディスクイメージはマウントできます。

その他のアプリケーションについて

その他のアプリケーションについて

その他の添付アプリケーション「Pixe VRF Browser」の使用方法につきましては、CD-ROM内のPDFマニュアルをご参照ください。

Windows での利用方法

セットアップの手順

セットアップは次の手順で進めます。

- 1 ユーティリティ CD-ROM からセットアップする。
- 2 パソコンに本機を接続し、電源を入れる。

Windows 2000、XP での注意事項および制限事項



注意

Windows 2000、XP でセットアップや環境の変更を行う時は Administrator (管理者) グループに所属したユーザーでログインしてください。

マルチ CPU システムには対応していません。

Windows 2000 用ドライバソフトは UDF2.0 に対応していないため、ユニバーサルディスクフォーマット(UDF2.0)でフォーマットされたディスクは未フォーマット扱いになります。また、フォーマット時にユニバーサルディスクフォーマット(UDF2.0)は選択できません。

ソフトウェアのインストール

ソフトウェアのインストール

PIX-SLRR/F1H（以下、本機と表記）を使用するためにはUDF形式でフォーマットされたDVD-R/RW&RAMメディアを読み書きするドライブ、及びフォーマットソフト/ユーティリティをインストールします。

インストールの手順

1 付属のCD-ROM を本機にセットします。

本機にセットしても認識しない場合は、パソコン本体のCD-ROMドライブにセットしてください。

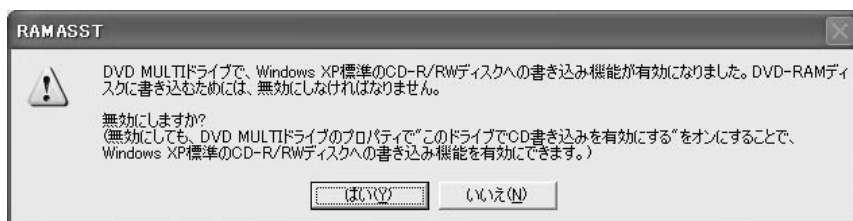
2 自動的にセットアッププログラムが起動します。

自動的に起動しない場合は、CD-ROM内のルートディレクトリにある「setup.exe」を実行してください。

3 メニューにしたがってセットアップを行ってください。

完了後、パソコンを再起動することで完了です。

Windows XPの場合：



再起動後に、上の画面が表示されます。

このとき、必ず「はい」をクリックしてください。「いいえ」をクリックすると、DVD-RAMドライブとして使用できなくなります。

ドライブと下記ユーティリティソフトが同時にインストールされます。機能については、「DVD-RAMの使い方」をご参照ください。

DVDForm：DVD-RAMディスクの初期化を行うソフトウェアです。

ソフトウェアのアンインストール

ソフトウェアのアンインストール

お使いのパソコンにインストールしたドライバおよびフォーマットソフト/ユーティリティを削除する場合、以下の方法でアンインストールを実行してください。

アンインストールの手順

本機のドライバおよびユーティリティの削除は以下の手順で行います。

- 1 **[スタート]-[設定]-[コントロールパネル]** を選択します。

[マイコンピュータ]-[コントロールパネル]の操作でも同様です。

- 2 **[アプリケーションの追加と削除]** を開きます。

[DVD-RAM ドライバー] を選択します。

- 3 **[追加と削除 (R) ...]** ボタンをクリックします。

画面の指示に従って作業を進めてください。

作業終了後、パソコンを再起動してください。



以上でアンインストールは完了です。

DVD-RAMの使い方

論理フォーマット（初期化）の方法

DVD-RAM ディスクのフォーマット形式には次の2種類があります。

用途に合わせて、UDF形式とFAT形式を使い分けてください。

9.4GB 両面タイプのDVD-RAM ディスクについては、片面毎にフォーマットを行ってください。

UDF (Universal Disk Format) 形式

DVDの統一フォーマットで、DVD-ROM、DVD-R、DVD-RAM間でデータ互換を保つための論理フォーマットです。大きなファイル（画像、音声データ）の読み書きは高速に行うことができます。

- ・FAT形式に比べて、構成が複雑なため、多数のファイルの読み書きには適しません。
- ・UDF形式でフォーマットされた場合、エクスプローラ上でのファイル表示が遅くなります。

FAT32 形式

Windowsの標準フォーマットで、従来のハードディスクなどで使用されている論理フォーマットです。

- ・UDF形式に比べて、文書ファイルのような小さなデータの読み書きに適しています。

お知らせ

- ・本機では、5.2GB(両面)/2.6GB(片面)DVD-RAMディスクはフォーマットできません。
- ・Windows 2000が標準サポートしているNTFS形式ではDVD-RAMディスクをフォーマットできません。

Windows 2000/XPでのフォーマットソフトの起動について

- ・フォーマットソフトをご使用の際は、Administrator(管理者)グループに所属したユーザー名でログインしてください。
- ・フォーマットソフトの起動前に、DVD-RAMディスクを使用中の全てのアプリケーションを終了してください。

DVD-RAMの使い方

論理フォーマットの手順

Windows Me/2000

1 フォーマットする DVD-RAM ディスクを本機にセットします。

2 [マイコンピュータ]を開きます。

DVD-RAM ディスクに割り当てられた [リムーバブルディスク] を右クリックします。

3 メニューから [フォーマット] を選択します。



Windows XP

1 フォーマットする DVD-RAM ディスクを本機にセットします。

2 [マイコンピュータ]を開きます。

3 本機に割り当てられたアイコンを右クリックします。

4 メニューから [フォーマット] を選択します。

DVD-RAMの使い方

5 DVDForm の画面で設定を行い、[スタート] をクリックします。

DVDForm のフォーマット種類については「DVDForm の使い方」を参照してください。



6 フォーマットの確認メッセージが表示されたら、[はい] をクリックします。

フォーマットが開始されます。フォーマット終了後、DVD-RAM ディスクが使用できます。

△ 注意

DVD-RAM ディスクのフォーマットは、必ず [DVDForm] をインストールして行ってください。「ドライバソフト/ユーティリティソフトのインストール」が完了していれば、インストールされています。

Windows 用のフォーマットソフトで DVD-RAM ディスクをフォーマットすると、2GB を越える FAT16 形式となり、使用に支障をきたす場合があります。

Windows 2000 用ドライバソフトは UDF2.0 に対応してませんので、ユニバーサルディスクフォーマット (UDF2.0) でフォーマットされたディスクは未フォーマット扱いになります。また、フォーマット時にユニバーサルディスクフォーマット (UDF2.0) は選択できません。

Windows 2000/Windows XP でセットアップや環境の変更を行う時は、Administrator (管理者) グループに所属したユーザーでログインしてください。

② 参照

フォーマットについて

UDF 形式で論理フォーマット後の DVD-RAM ディスクは、ディスクの使用領域が 128KB と表示されます。

DVD-RAM ディスクのアンフォーマット時の空き容量は 4.7GB (片面タイプ) ですが、UDF 形式で論理フォーマット後の空き容量は 4.26GB となります。

DVD-RAMの使い方

推奨フォーマットについて

パソコンでのファイル保存に使用するときには、フォーマット種別[ユニバーサルディスクフォーマット (UDF1.5)]を選択します。

DVD-RAM ディスクで Windows/Mac OS などの異なる OS 環境でデータ交換ができます。
UDF 形式の DVD-RAM ディスクの読み書きができるのは Mac OS 9 環境です。

映画などの大容量ファイル保存に使用するときのみ、フォーマット種別[ユニバーサルディスクフォーマット (UDF2.0)]を選択します。

4.7GB/9.4GB DVD-RAM ディスクを DVD フォーラム策定の「ビデオレコーディング規格」準拠の DVD ビデオレコーダーや同規格準拠のパソコン用記録ソフトで使用するときのみ選択してください。UDF2.0 形式でフォーマットしたディスクは、UDF2.0 をサポートしていない環境では使用できません。



DVD ビデオレコーダーで記録された DVD-RAM ディスクの取り扱い

DVD フォーラム策定の「ビデオレコーディング規格」準拠の DVD ビデオレコーダーや同規格準拠のパソコン用記録ソフトで記録された DVD-RAM ディスク上には [DVD_RTAV] フォルダが作成されます。このフォルダ内にビデオレコーディング規格の各種ファイルが作成されます。パソコン上では専用のパソコン用記録ソフト以外では絶対にこのフォルダ内のファイルにアクセスしないでください。

このフォルダやフォルダ内のファイルを削除、変更すると、DVD ビデオレコーダーやパソコン用記録ソフトで再生ができなくなります。
パソコン上でこれらのファイルにアクセスするには、パソコン用記録ソフト等の専用ソフトをご使用ください。

このフォルダ内の一部のファイルは 2GB を超えているものがあり、容量が 2GB を超えるファイルは、Windows 98 の仕様上の制限により、コピーできない、容量が正しく表示されない場合があります。

DVD-RAMの使い方

DVDFormの使い方



フォーマットを開始します。

一覧よりフォーマット形式を選択します。

ボリュームラベル名を入力します。

UDF形式を選択した場合、必ず入力してください。入力しない場合、「PANA-UDF」が自動的に設定されます。

物理フォーマットを行う場合に選択します。

(通常は、選択する必要はありません)

ディスク上の全セクタを検査し、不良セクタの代替処理を行います。

フォーマット形式を選択する

4.7GB/9.4GB DVD-RAMディスクの場合

ユニバーサルディスク フォーマット (UDF1.5)	DVD-RAMの標準フォーマットです。Windows/Mac OS などの異なるOS環境でデータ交換ができます。 UDF1.5形式でフォーマットしたDVD-RAMディスクは、DVDフォーラム策定の「ビデオレコーディング規格」準拠のDVDレコーダーでは使用できません。
ユニバーサルディスク フォーマット (UDF2.0)	DVDフォーラム策定の「ビデオレコーディング規格」準拠のDVDレコーダーで使用するためのフォーマット形式です。Windows 2000では表示されません。 UDF2.0形式でフォーマットしたDVD-RAMディスクは、UDF2.0をサポートしていない環境では使用できません。
FAT-32	Windows 98/Windows Me/Windows 2000でサポートされているWindows標準フォーマットです。

UDF1.5形式のDVD-RAMディスクの読み書きが出来るのはMac OS 9以降です。Mac OS Xは未対応です。

お知らせ

2.6GB/5.2GB DVD-RAMディスクは、本機ではフォーマットできません。

DVD-RAMの使い方

カートリッジなしディスク用ツールの使い方

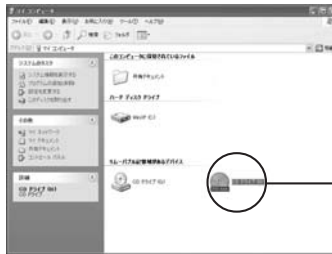
本製品のデバイスドライバには、カートリッジなしディスク用ツール「DVD Tools」が組み込まれています。

「DVD Tools」には、次の機能があります。

カートリッジなしディスクのライトプロテクト（書き込み禁止）を設定または解除する
「DVD Tools」は、9.4GB/4.7GB DVD-RAM ディスク専用です。

■ 起動のしかた

- 1 DVD-RAMディスクを本機にセットします。
- 2 [マイコンピュータ]を開き、本機に割り当てられている [リムーバブルディスク] を右クリックします。



右クリック

(Windows XP の場合)

- 3 表示されたメニューから [プロパティ] を選択し、 [DVD Tools] タグをクリックします。

下の [DVD Tools] 画面が表示されます。



本機では使用できません。

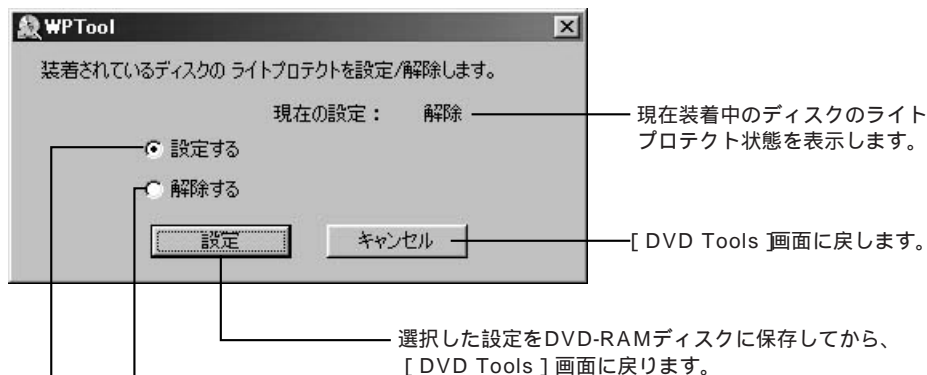
(50ページ参照)

DVD-RAMの使い方

■ ライトプロテクト設定 / 解除のしかた

ライトプロテクトを設定 / 解除したいDVD-RAMディスクをドライブにセットし、[DVD Tools]画面で[変更]ボタンをクリックします。

下のライトプロテクト設定画面が表示されます。



現在装着中のディスクのライトプロテクト状態を表示します。

[DVD Tools]画面に戻ります。

選択した設定をDVD-RAMディスクに保存してから、
[DVD Tools]画面に戻ります。

ライトプロテクトを解除します。
DVD-RAMディスクはリードライト（録画・再生）とも可能になります。

ライトプロテクトを設定します。
DVD-RAMディスクはリードオンリー（再生専用）になります。

困ったとき?!

トラブルが発生した場合、まず、以下の点をお調べください。

以下の点をお調べになり、トラブルが解消されない場合は、54ページのトラブル承り書のコピーに必要な事項をご記入のうえ、弊社ユーザーサポートセンターにお問い合わせください。

こんなときは	ここをお調べください	参照ページ
ディスクが入らない	本機の電源は入っていますか？ 本機のACアダプタは正しく接続されていますか？	12～14
ディスクが出てこない	本機の電源は入っていますか？ 本機のACアダプタは正しく接続されていますか？ 本機とパソコンは正しく接続されていますか？ パソコンを再起動してみてください。 規格にあったディスクを使用していますか？ 規格外ディスクを使用されると、故障の原因になります。サポートセンターまでお問合せください。	12～14 -
パソコンから操作しても本機が動作しない	本機とパソコンが正しく接続されていますか？ DVD-RAMドライブが正しくインストールされていますか？	13 21 42
本機がWindows上で認識されない	DVD-RAMドライブが正しくインストールされていますか？ Windows XP 以外では、DVD-RAMドライブがインストールされていない場合、Windows上ではCD-ROMドライブとして認識されます。DVD-RAMドライブを必ずインストールしてください。	42
DVD-RAMディスクがセットできない	カートリッジからディスクを取り出してセットしていますか？（本機はカートリッジに入った状態のディスクは使用できません。）	8
DVD-RAMディスクが使用できない	本機で利用できる種類のディスクですか？ フォーマットされていますか？ 正しいドライブ名にアクセスしていますか？ （Windowsのみ）	7・8・16 22～25 44～48 -
DVD-RAMディスクに記録できない	本機で書き込みできる種類のディスクですか？ ライトプロテクトが設定されていませんか？	7・16 27・50
CD-ROM/DVD-ROMが使用できない	ディスクが正しくセットされ、POWER表示ランプが赤色に点灯していますか？ 正しいドライブ名にアクセスしていますか？	12～14 -
DVD-R、DVD-RWがフォーマットできない	本機はDVD-R/RWのディスクフォーマットはできません。	-

巻末資料：用語解説

DVD-R (for General 2.0)	DVD-Rには、「一般用 (General)」と「オーサリング用 (Authoring)」の2種類の規格があります。本機は読み出しのみ両方に対応していますが、「オーサリング用」メディアには書き込みできません。
IEEE1394	Apple社がFireWireの名前で開発した次世代シリアルバス規格。400Mbpsという高速なデータ転送速度を持ちます。米国電気電子学会がIEEE1394として標準化しました。メーカーによってFireWire、i.LINKなどの表記をしています。
UDFフォーマット	Universal Disk Formatの略で、各種DVDディスク (DVD-RAM、DVD-ROM、DVD-R/RW) に採用されているディスクフォーマットです。
エンコード	動画データをDVDビデオ規格に適したMPEGファイルに変換処理を行うことです。パソコンのCPUを使うソフトウェアエンコードと専用ICを使うハードウェアエンコードがあります。
インストール	デバイスドライバなどのソフトウェアをパソコンのシステムに登録する作業をいいます。また、周辺機器やSCSIインターフェースボードなどをパソコンに接続する作業も「インストールする」といいます。
オーサリング	文字や画像、動画、音声などのいろいろな要素を組み合わせて一本のソフトウェアを作成することです。本機には、DVD-Video、Video CDのオーサリングソフト「Capty DVD/VCD」が同梱されています。
ディスクアットワンス	追記型ディスク (DVD-R/RWやCD-R/RW) の記録方式の一種で、ディスク上に記録すべきデータを途中で途切れることなく記録する方式を指します。ディスクアットワンス方式で記録されたディスクは、ROMディスクと同じように読み出すことができます。
ホットプラグ	IEEE1394 (FireWire) インターフェース規格は「システム起動中にIEEE1394機器の追加や取り外しをする」など、活線挿抜 (ホットプラグ) といわれる動作が可能です。本機はホットプラグに対応していますが、取り外しの際にはディスクへのアクセス中でないことを確認する必要があります。
マウント	一般的には、コンピュータからアクセスできるように、ディスクドライブなどをソフトウェア的に接続すること。本機の付属ソフト「Pixe Burn!3」では、作成するディスクの容量に合わせて作成したディスクイメージファイルを画面上に呼び出すことを「マウントする」と呼びます。
論理フォーマット	初期化 (イニシャライズ) とも呼びます。DVD-RAMなどがパソコンのシステムで読み書きできるよう、システムの各種管理情報をディスクに書き込みする作業をいいます。

DVD MULTI ドライブ

電源	ACアダプタ AC100V 50/60Hz	
消費電力	11.5W (ACアダプタ 約1W)	
インターフェース	IEEE1394(FireWire) × 2ポート (6ピン)	
外部転送レート	最大400Mbps	
シークタイム	DVD-RAM	180ms
	DVD-ROM	130ms
	CD-ROM	130ms
連続データ転送速度	DVD-RAM	1,385KB/s (2.6GB再生時) 2,770KB/s (4.7GB)
	DVD-R	2,770KB/s (記録時) 5.540KB/s max. (再生時)
	DVD-RW	1,385KB/s (記録時) 5.540KB/s max. (再生時)
	DVD-ROM (Single)	11,080KB/s max. (最大8倍速・再生時)
	DVD-ROM(Dual)	8,310KB/s max. (最大6倍速・再生時)
	DVD-Video	5,540KB/s max. (最大4倍速・再生時)
	CD-R	2,400KB/s max. (最大16倍速・記録時)
		3,600KB/s max. (最大24倍速・再生時)
	CD-RW	1,200KB/s max. (最大8倍速・記録時)
		1,800KB/s max. (最大12倍速・再生時)
CD-ROM	3,600KB/s max. (最大24倍速・再生時)	
CD-DA	3,000KB/s max. (最大20倍速・再生時)	
バッファ容量	2MB	
設置方向	横置き	
許容動作温度	5 ~ 45	
許容動作湿度 (結露なきこと)	10 ~ 80%RH	
外形寸法 (幅×高さ×奥行)	138mm × 20mm × 153mm	
質量 (本体のみ)	約390g	
IEEEコネクタ形状	6ピン	
対応ディスク	記録・再生	DVD-RAM (4.7GB/9.4GB)*1 (120mm)
		DVD-R (4.7GB for General Ver.2.0) (120mm)
		DVD-RW (4.7GB Ver.1.1) (120mm)
		CD-R (120mm)
		CD-RW*2 (120mm)、High Speed CD-RW
	再生のみ	DVD-RAMディスク (2.6GB/5.2GB)
		DVD-ROM、DVD Video (120mm)
		DVD-R*2*3 (3.95GB/4.7GB for Authoring) (120mm)
		DVD-RW (4.7GB Ver.1.0)
		CD-ROM (XA対応)、Photo CD (マルチセッション対応)、Video CD (120mm)、CD-EXTRA、CD-DA
<p>*1 TYPE1カートリッジ(ディスク取出不可)のディスクは使用できません。 *2.書き込まれた状態によっては、性能が発揮されない場合があります。 *3 ディスクアウトワンス方式で書き込まれたディスクに対応しています。</p> <p>ディスク容量はアンフォーマット時の容量です。 両面ディスクは同時に両面の記録再生はできません。 CD-Gには対応していません。 ディスク・ドライブ・記録形式によっては、本機の記録・再生性能を保証できない場合があります。</p>		

定格仕様および外観は、性能向上その他の理由で、予告無く変更することがあります。

ユーザ - サポートについて

本書の内容につきましては万全を期しておりますが、万が一不審な点およびトラブルが発生したときは、ご面倒でも下記の内容について可能な限り詳しい情報をお知らせください。

送り先：ピクセラ・ユーザサポートセンター（TEL:06-6633-2990 FAX：06-6633-2992）

ト ラ ブ ル 承 り 書		記入年月日	年 月 日
製品名 / 品番	Fire Wire接続ポータブル DVD MULTIドライブ PIX-SLRR/F1H	製造番号	

ご 依 頼 者	フリガナ お名前	電話番号 () — FAX番号 () —
	フリガナ 貴社名	昼間の連絡先 () —
	ご住所 〒	都道府県 区市郡

ト ラ ブ ル の 内 容	1、パソコンは	使用中 起動中 インストール中
	2、ドライブの認識は	2-1) DVD-RAM OK NG
		2-2) CD-ROM/DVD-R/ROM OK NG
	3、使用メディアは	DVD-RAM DVD-R/RW CD-ROM/DVD-ROM
	4、メディアの認識は	OK NG
	5、障害発生時は	記録中 再生中 フォーマット中
	6、何が起きましたか？	エラーメッセージが表示された 表示内容： システムがハングアップした 応答が遅くなった ファイルが開けなくなった その他 具体的な内容：
7、CD-ROM/DVD-ROMの種類は (上記3、でCD-ROM/DVD- ROMにチェックされた方のみ)	CD-ROM DVD-ROM Video CD Photo CD ディスクメーカー： タイトル名：	

シ ス テ ム の 環 境 / ご 送 付 前 の 確 認 事 項	パソコン (モデル：) (OS：)	接続状況	本体と直接に接続 IEEE1394ハブ経由 で接続
	搭載メモリ (MB) : HD容量 (MB/GB)		
	CD-ROM/DVD-ROMが正常に認識されていますか？	はい・いいえ	
	DVD-RAMメディアが正常に認識されていますか？	はい・いいえ	
	[システムプロフィール]でドライブ名は表示されていますか？	はい・いいえ	
複数のIEEE1394装置を接続している場合、他のIEEE1394装置を取り外して、 本機のみで正常に動作しますか？	はい・いいえ		

■ お問い合わせの前に

お問い合わせの際には、必ずユーザーID、またはシリアル番号をご記入ください。ご記入がない場合は、サポートがお受けできない場合があります。

- ユーザーIDは、ご登録の際に発行しております。
- シリアル番号は、パッケージに同梱されている「ユーザー登録カード兼保証書」用紙に記載しております。
- 「ユーザー登録カード兼保証書」は、紛失された場合でも再発行いたしませんので、大切に保管してください。

FAXでのご質問やお問い合わせにつきましては、FAXでのご返答をさせていただきます。必ずFAX番号をご記入ください。Eメールでのサポートはございませんので、ご了承ください。

保証とアフターサービス

保証書について

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、保存してください。

保証期間：お買い上げ日から本体 1 年間

但し、お買い上げ日を証明するものが確認できない場合、有償修理とさせていただきます。保証期間内でも、『製品保証書』に記載されている事項（次項参照）にあてはまる場合は有償修理とさせていただきます

保証期間中は・・・

保証期間内（ご購入後 1 年間）は無償修理とさせていただきます。

保証期間内でも下記の場合は原則として修理費用をご負担いただきます。

1. お買い上げ年月日、販売店名、販売店捺印のない場合
オンライン（WEB）でお買い上げ頂いた場合は、お買い上げ日を証明するもの（納品書）が必要となります。
2. 操作上の誤り、及び弊社によらない修理や改造による故障及び損傷
3. 火災、風水害、地震などの天災による故障及び損傷
4. お買い上げ後の輸送、落下などによる故障及び損傷
5. 保証書をご提示されない場合

保証期間を過ぎているときは・・・

修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。
ただし、PIX-SLRR/F1Hの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後 7 年です。
補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理料金の仕組みについて

修理料金は、技術料・部品代などで構成されます。
「技術料」は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。
「部品代」は、修理に使用した部品および補助材料代です。

修理依頼品発送について

誠に勝手ながら送料につきましてはお客様ご負担とさせていただきます。
修理依頼品に必ず『製品保証書』と故障内容の詳細を明記したものを同梱してお送りください。

修理に関してのご注意

ユーザー登録カード兼保証書をご返送されない場合は、保証に支障をきたす場合がありますので、必ずご返送ください。
故障の疑いがある場合には、まずユーザーサポートセンターにお問い合わせください。
規格外ディスクなど、弊社動作保証外のディスクの使用などの原因による故障は保証期間内であっても有償修理となります。

その他

「保証とアフターサービス」につきましては、弊社ホームページの「Support」インデックスの「ピクセラ製品の修理について」も合わせてご参照ください。

製品に関するお問い合わせは、

株式会社ピクセラ ユーザーサポートセンター

TEL06-6633-2990 FAX06-6633-2992

〒556-0011 大阪府大阪市浪速区難波中 2-10-70

パークスタワー 25F

受付時間 10:00 ~ 13:00、14:00 ~ 17:00 土・日・祝・弊社指定休日を除く

PIX-SLRR/F1H

Pixela Corporation